

めいわ 社協だより



令和7年12月号

令和7年12月1日発行

社会福祉法人明和町社会福祉協議会
(明和の里・ありんこ・やわらぎ)
三重県多気郡明和町大字馬之上917-1
TEL 0596-52-7056
FAX 0596-52-7057
<https://meiwashakyo.com>

赤い羽根共同募金配分事業 **第4回あかなご野球フェスタ**が開催されました



10月11日(土)全国大会でも優勝経験があり日本代表に多くの選手が選出されている身体障がい者野球チーム「名古屋ビクトリー」をお招きし、明和中学校野球部との交流試合が行われました。

今回で4回目となるこのイベントは、実行委員会の皆様が「障がいとは何か?」を子ども達に「**みて、しって、体感して**」もらう機会として開催されています。

当日はあいにくの天気で一部プログラムは実施できませんでしたが、障がい

があっても大好きな野球に夢中になり、

いきいきと笑顔でプレーする名古屋ビクトリーの選手の皆さんから、一緒にプレーをした明和中学校野球部のみなさんは多くの事を感じ取った事と思います。

このイベントは、皆様からご協力いただいている「赤い羽根共同募金」にて助成をさせてもらい開催されました。地域の皆様による貴重な募金を活用させてもらい、次世代を担う子ども達を中心に、日常では得ることのできない経験の場をつくることが出来た事を改めて感謝申し上げます。



献血にご協力お願いします

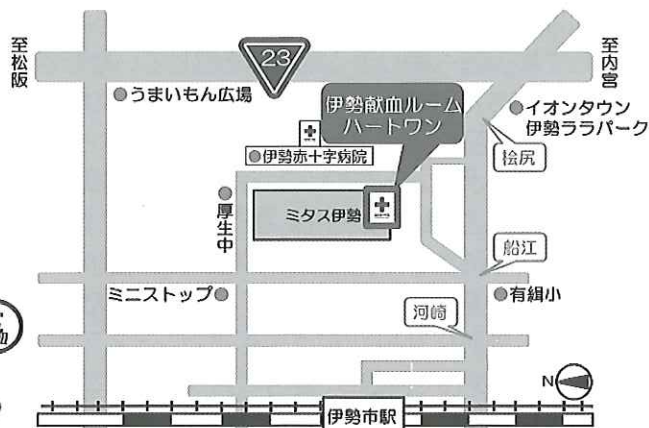
～あなたの献血が誰かの一生につながる～

伊勢献血ルーム「ハートワン」

受付時間 全血献血 10:00～11:45 13:00～17:30
成分献血 10:00～11:00 13:00～17:00

休日 金曜日、年末年始

〒516-0008 伊勢市船江1-471-1「ミタス伊勢」内
フリーダイヤル **0120-25-7821**



たくさんのご寄附ありがとうございました (令和7年8月～10月) (敬称略)

多気郡農業協同組合様より ご寄附いただきました



今年也多気郡農業協同組合様より新米60kgをご寄附いただきました。明和の里デイサービス、ありんこ、やわらぎのご利用者様に提供するとともにOBENTO PROJECT、生活困窮者支援など地域の福祉向上のために有効に活用させていただきます。

- 中村アルミ缶ボランティア 20,000円
- 匿名 10,000円
- 匿名 8,000円
- 匿名 4,000円
- 匿名 2,000円
- OBENTO PROJECT募金箱 2,010円
- 西山隆 玄米30kg
- 西川和衛 碁石・碁盤
- 西口昌子 切り花
- 島田まさ子 ピーマン1袋

皆様からの沢山の
ご寄付・募金に
深く感謝申し上げます

- その他沢山の匿名の方より
玄米、さつまいも、食器一式、
ミニテーブル、衣類、紙パン
ツ、紙パンツ用パッド、おしり
拭き、T字帯、オブラート

OBENTO PROJECTへの 食材などの 支援



- 有限会社松幸農産 玄米90kg
- 呉竹倶楽部 南瓜18個、ゴーヤ37個、冬瓜17個、
さつまいも1箱・大5本
ブルーベリー5パック
- 淀の会 玄米30kg、砂糖5kg
- 西山 隆 南瓜11個
- 濱口 和雄 ナス2袋
- 田所 進 唐辛子10束(花)
- 森 又雄
- その他沢山の匿名の方より
玄米、きゅうり、南瓜、ピーマン、ゴーヤ、オクラ、じゃが芋、
柿、ナス、万願寺唐辛子

三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝



民生委員
前田 哲司さん



民生児童委員
前田 幸子さん



この度、令和7年10月24日に三重県総合文化センター・中ホールにおいて第73回三重県社会福祉大会が開催されました。明和町より「民生委員・児童委員功労者」に前田哲司さん、前田幸子さんが表彰されました。誠にありがとうございます。

また当協議会からも「社会福祉協議会・民間団体功労者」に職員 出口幸子さん、藤井弘司さん、加藤典子さんが表彰されました。ありがとうございました。

「令和7年度災害ボランティア養成講座」を3回シリーズで開催しました!

第1回は講師にみえ防災市民会議山本議長をお迎えし、能登の現状や被災者の疑似体験を通して被災者へ寄り添う気持ちを感じていただきました。受講生からは「被災するという事が実感できた」「軽々しく気の毒にと言えなくなった。」「講師さんのお話を聞いて、日頃のボランティア活動の大切さが良く分かった。」などの意見がありました。

第2回は登録ボランティア サロンおいず、明和町防災ボランティアプラス1にご協力頂いて、「明和町防災訓練」の炊き出し訓練と、大淀の自治会が主になって行われた避難所運営に参加させて頂きました。悪天候の為規模は縮小されましたが、どちらの活動も災害時に備える平時の心構えや準備について学んでいただけたと思います。

第3回は災害時に社協が担う災害ボランティアセンターの運営について、運営側とボランティア側に分かれて体験し、運営の見直し点についても気付きがありました。

来年度以降も、修了生の方と共にやり取りのある「災害ボランティア養成講座」を継続的に開催させて頂きたいと思っています。

